



# ゼリア新薬工業株式会社

2012年度(2013年3月期)  
第2四半期 決算説明会

—2012年11月13日—  
代表取締役社長 伊部 幸顕

## I. 2012年度 第2四半期の業績(連結)

- I -1 決算の概要(連結)
- I -2 売上高(連結)
- I -3 医療用医薬品事業の状況
- I -4 コンシューマーヘルスケア事業の状況
- I -5 利益(連結)

## II. 2012年度 下期の取り組みと通期の予想(連結)

- II -1 下期の取り組み
- II -2 医療用医薬品事業:アサコール
- II -3 コンシューマーヘルスケア事業:ヘパリーゼ
- II -4 アジア事業展開
- II -5 研究開発:新薬パイプラインの状況
- II -6 通期業績予想(連結)

# I . 2012年度 第2四半期の業績(連結)

## I -1 決算の概要(連結)

- ◆ 医療用医薬品事業は、アシノン、プロマック等が薬価改定等の影響を受けたものの、アサコールの国内外での市場浸透による売上の拡大により、ほぼ横ばい。
- ◆ コンシューマーヘルスケア事業は、ヘパリーゼ群が大幅に伸長し、ウィズワン群も順調に推移したものの、コンドロイチン群が苦戦。
- ◆ 売上高は減収となったものの、当期純利益は増益。

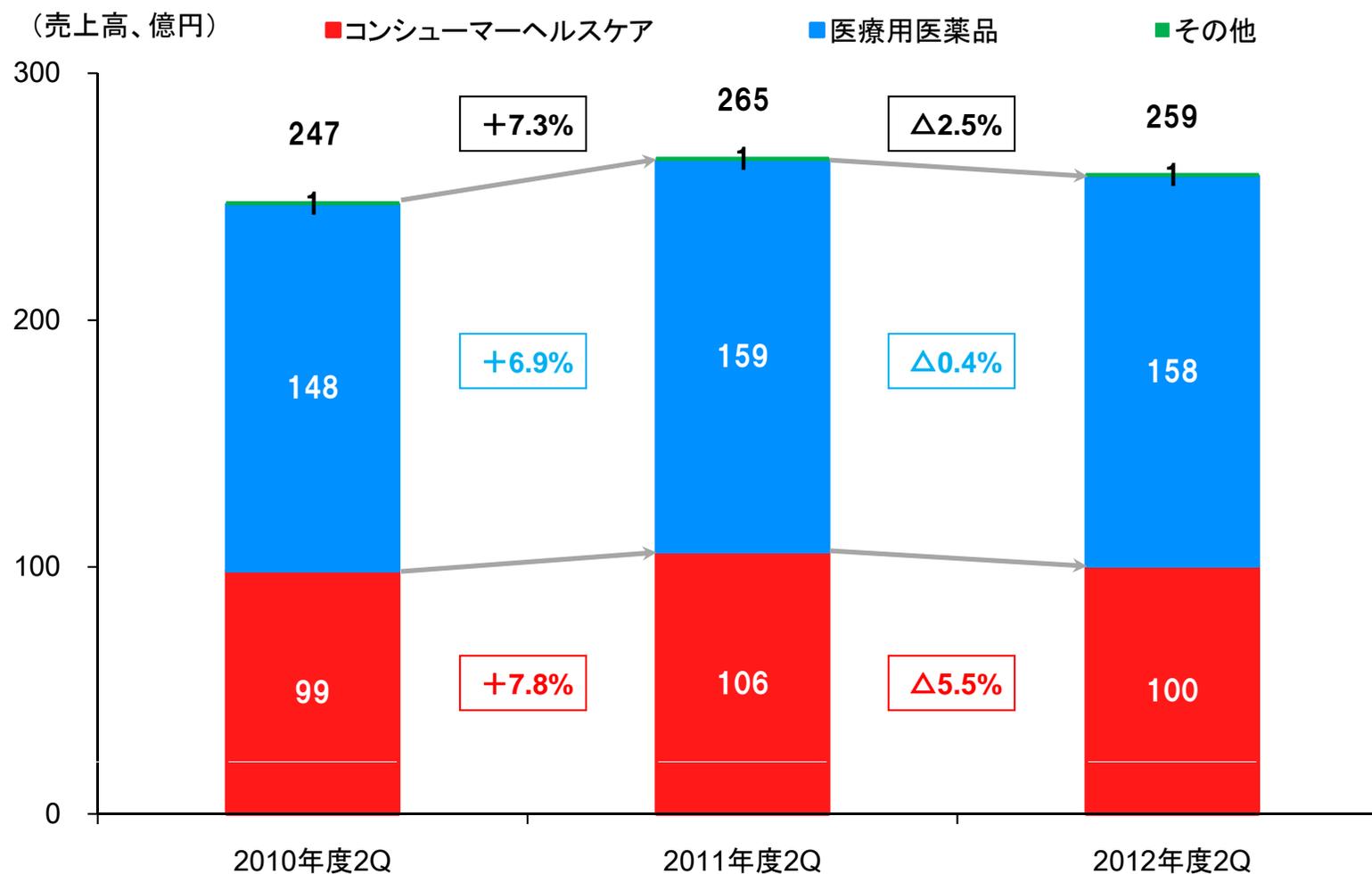
# I -1 決算の概要(連結)

◆ 売上高は前同比2.5%減、当期純利益は前同比26.8%増の減収増益。

(単位:百万円)	2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計			
	実績	実績	前同伸率	予想(8/8修正)	達成率
売上高	26,587	25,931	△2.5%	27,000	96%
売上総利益	17,214	16,833	△2.2%	—	—
販売管理費	14,526	14,902	2.6%	—	—
営業利益	2,688	1,930	△28.2%	1,800	107%
経常利益	2,611	2,020	△22.6%	1,900	106%
当期純利益	1,750	2,218	26.8%	2,000	111%
一株当り配当	11円	13円	(前年差) 2円	12円	(差異) 1円

## I -2 売上高(連結)

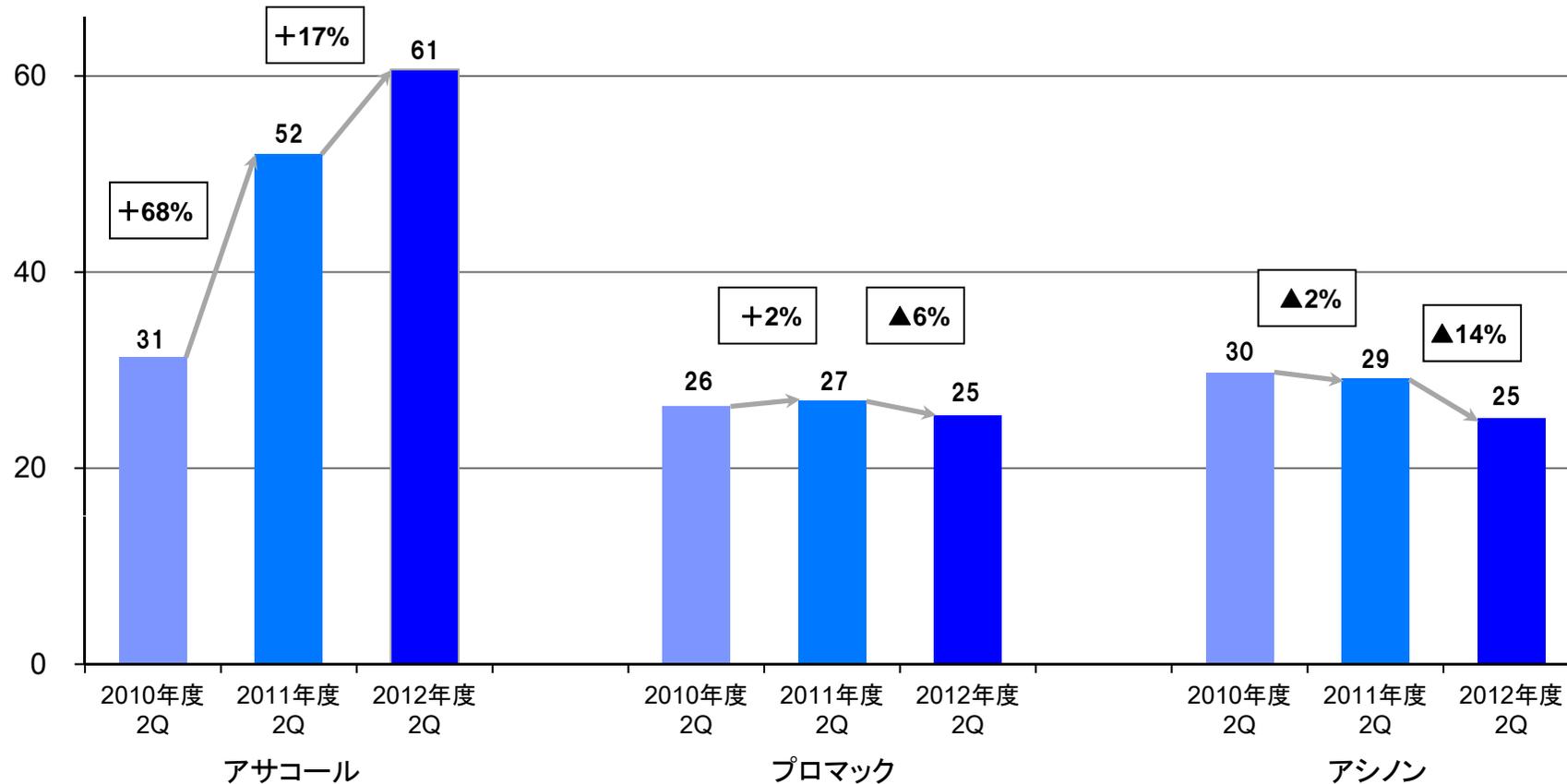
- ◆ 売上高は259億円、前同比2.5%の減収。
- 医療用医薬品事業は横ばい、コンシューマーヘルスケア事業は減収。



# I -3 医療用医薬品事業の状況

- ◆ アサコールは前同比17%増と引き続き伸長。
- ◆ プロマック、アシノンには薬価改定や後発品の使用促進等の影響を受けて苦戦。

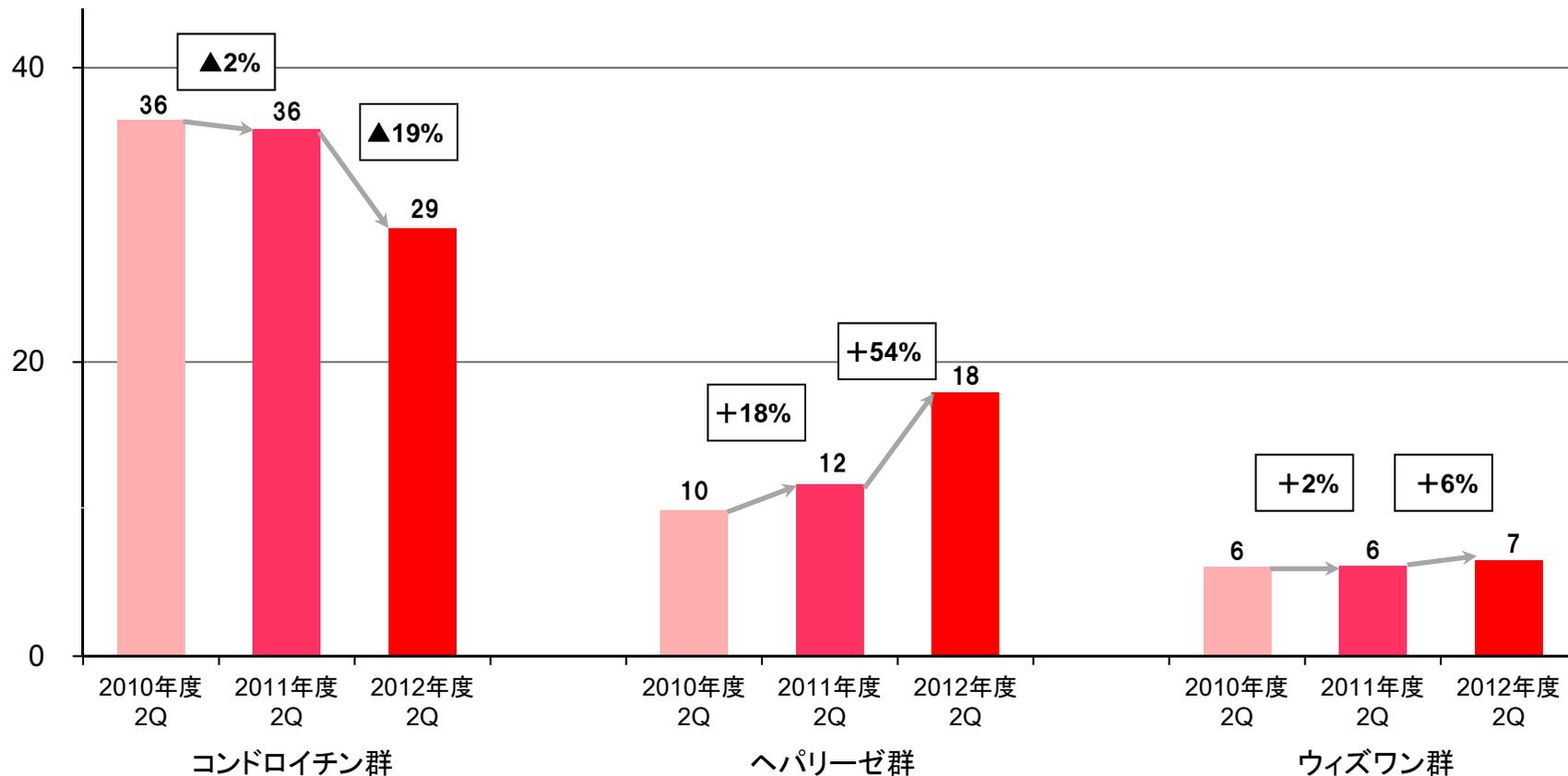
(売上高、億円)



## I-4 コンシューマーヘルスケア事業の状況

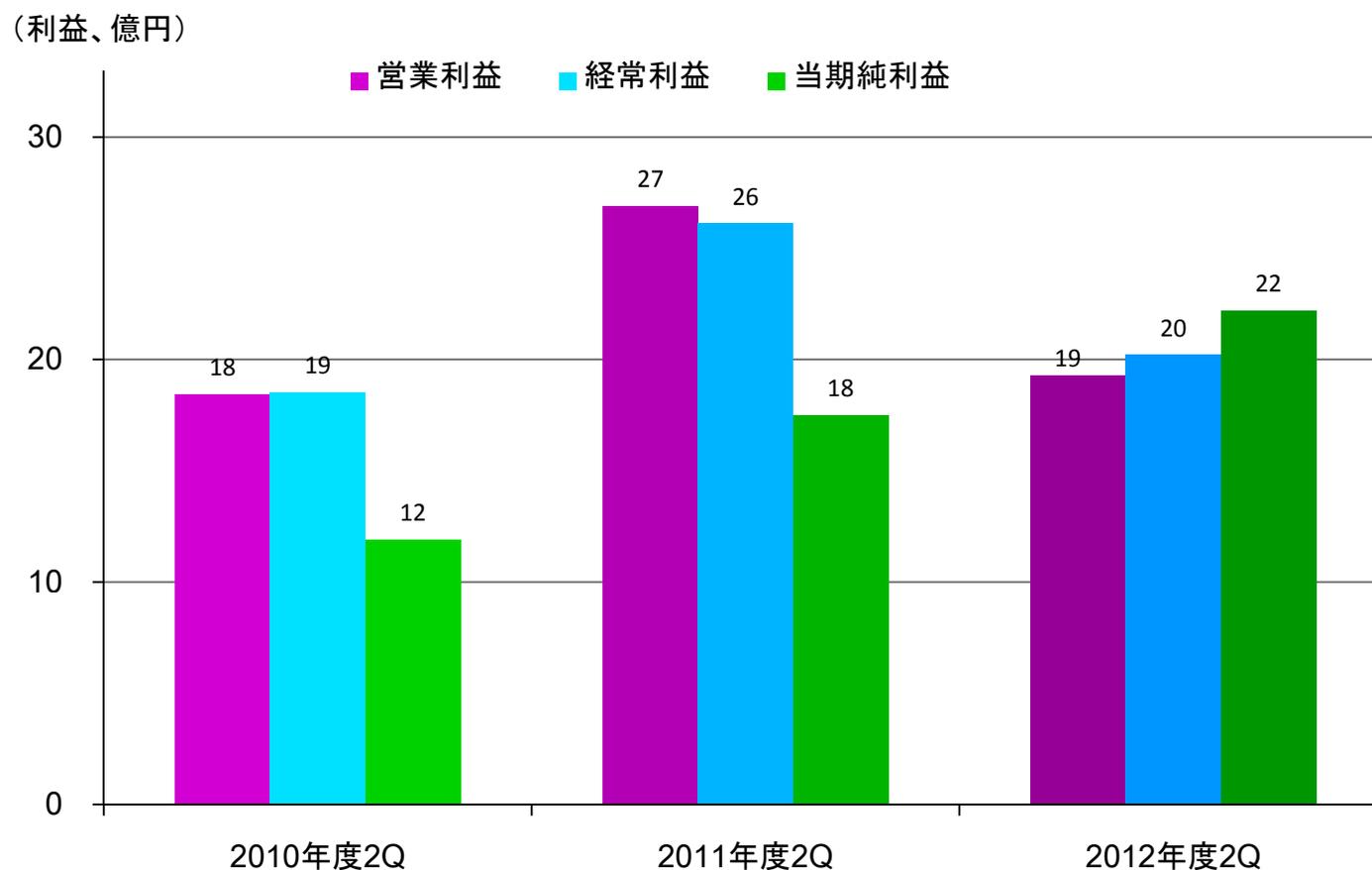
- ◆ ヘパリーゼ群は前同比54%の大幅伸長。ウイズワン群も前同比6%の伸長。
- ◆ コンドロイチン群は前同比19%減と苦戦。

(売上高、億円)



## I -5 利益(連結)

- ◆ 営業利益、経常利益は減益となったが、当期純利益は前期に引き続き増益。
- 営業・経常利益は売上高の減少と広告宣伝費等、販管費の増加により減益。
- 当期純利益は特別利益により増益。



## Ⅱ. 2012年度 下期の取り組みと 通期の予想(連結)

## Ⅱ-1 下期の取り組み

### ◆ 医療用医薬品事業

「アサコール」は国内経口メサラジン製剤市場でトップを目指す。

### ◆ コンシューマーヘルスケア事業

ヘパリーゼ群を第2のナショナルブランドとして確立する。

### ◆ アジア事業展開

東南アジア地域での拠点設立の検討を進める。

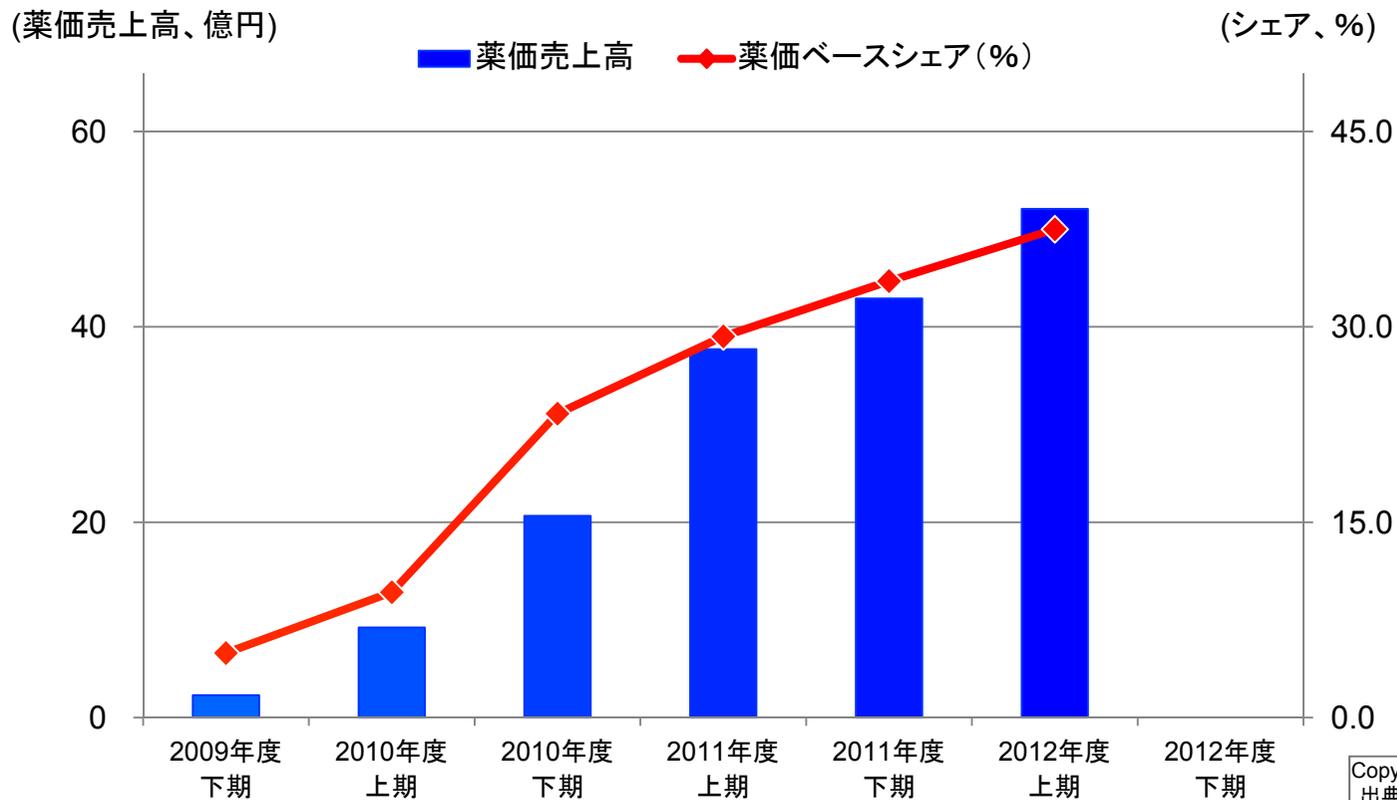
### ◆ 研究開発

Z-338及びZ-521の早期上市を目指す。

## Ⅱ-2 医療用医薬品事業：アサコール

◆ 国内では、薬価ベースで、協和発酵キリンと合わせ、経ロメサラジン製剤でのトップを目指す。

国内におけるアサコール(ゼリア+協和発酵キリン)の薬価ベース売上高\*及びシェア\*\*



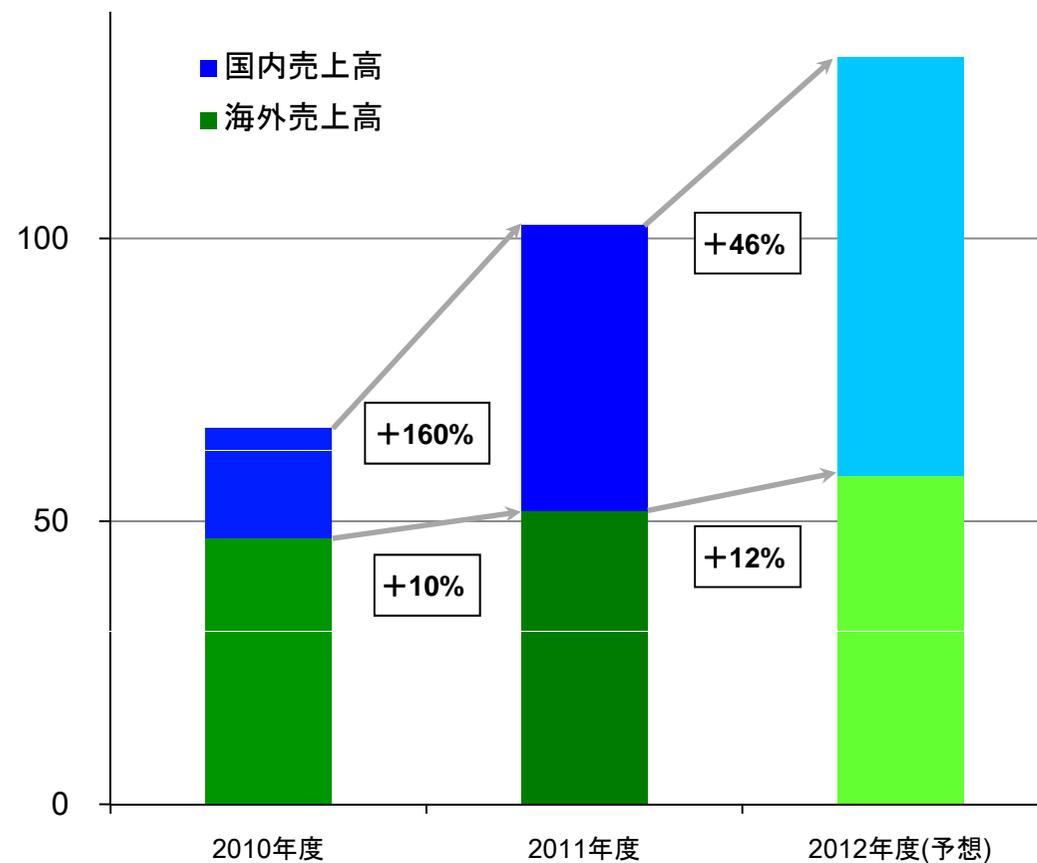
\* : 売上高は各半期中のゼリア+協和発酵キリンのアサコール薬価売上高の合計

\*\* : シェアは、各半期末月における経ロメサラジン製剤薬価売上高に占めるゼリア+協和発酵キリンのアサコール売上高(2009年下期は12月以降)

## Ⅱ-2 医療用医薬品事業：アサコール

- ◆ 国内では今年度も引き続き大幅な伸長を予測。
- ◆ 海外でも着実な伸長を継続。

(売上高、億円)

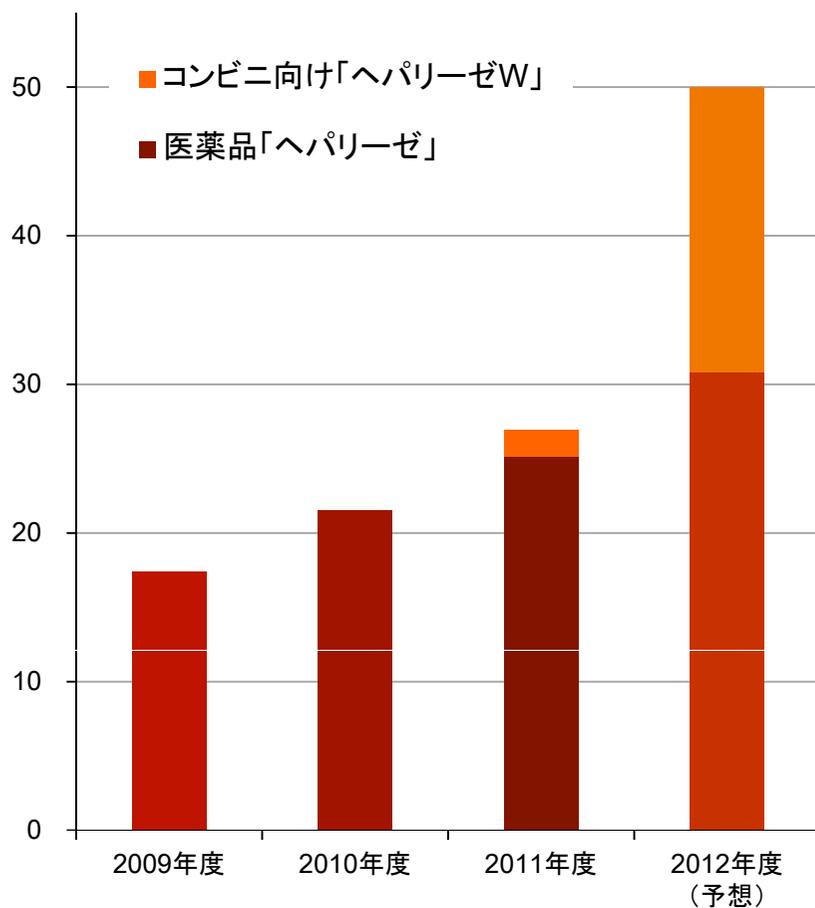


アサコール売上高地域別内訳

## Ⅱ-3 コンシューマーヘルスケア事業：へパリーゼ

◆ 「へパリーゼ群」を第2のナショナルブランドとして確立する。

(売上高、億円)



- 集中的に広告宣伝を行い、「へパリーゼ」ブランドの認知度を向上する。
- 「へパリーゼW」のコンビニ配荷率を上げ、定番商品として定着させる。
- これらのシナジーにより、へパリーゼ群をナショナルブランド化する。

### 「へパリーゼ」シリーズ



コンビニ向け清涼飲料水  
「へパリーゼW (ダブル)」



テレビCM



交通広告

- ◆ 中国における「アサコール」の開発は順調に進行中。  
2013年度申請予定。
- ◆ 韓国において、OTC医薬品2製品が本年4月から、「プロマック」  
が8月から販売が開始された。
- ◆ 中国・韓国における拠点設立はペンディング。  
その他東南アジアにおける拠点設立について検討中。

## Ⅱ-5 研究開発：新薬パイプラインの状況

### 国内消化器系分野

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-338	自社オリジナル 予定製品名 アコファイド	共同開発 (アステラス製薬)	申請中	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-103	導入	自社開発	フェーズⅢ	味覚障害 「プロマック」効能追加	亜鉛補充	ポラプレジンク
Z-206	自社グループオリジナル	共同開発 (協和発酵キリン)	フェーズⅡ	クローン病 「アサコール」効能追加	pH依存型放出調整製剤	メサラジン
Z-360	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅠ準備中 (アジア同時開発)	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	-

### 国内その他

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-521	自社オリジナル 予定製品名 ホスリボン	自社開発	申請中	くる病・骨軟化症を 伴う低リン血症	リン酸補充 未承認薬開発支援対象 希少疾病用医薬品	-
Z-100	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅢ	子宮頸癌	免疫調節作用	-

### 海外

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-206	自社グループオリジナル	共同開発 (Tillotts Pharma)	フェーズⅢ (中国)	潰瘍性大腸炎 「アサコール」	pH依存型放出調整製剤	メサラジン
Z-338	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅢ準備中 (欧州)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-338	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅡ終了 (北米)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-360	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅡ準備中 (欧州、アジア)	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	-

\* Z-103(プロマック)は韓国での販売を開始いたしました

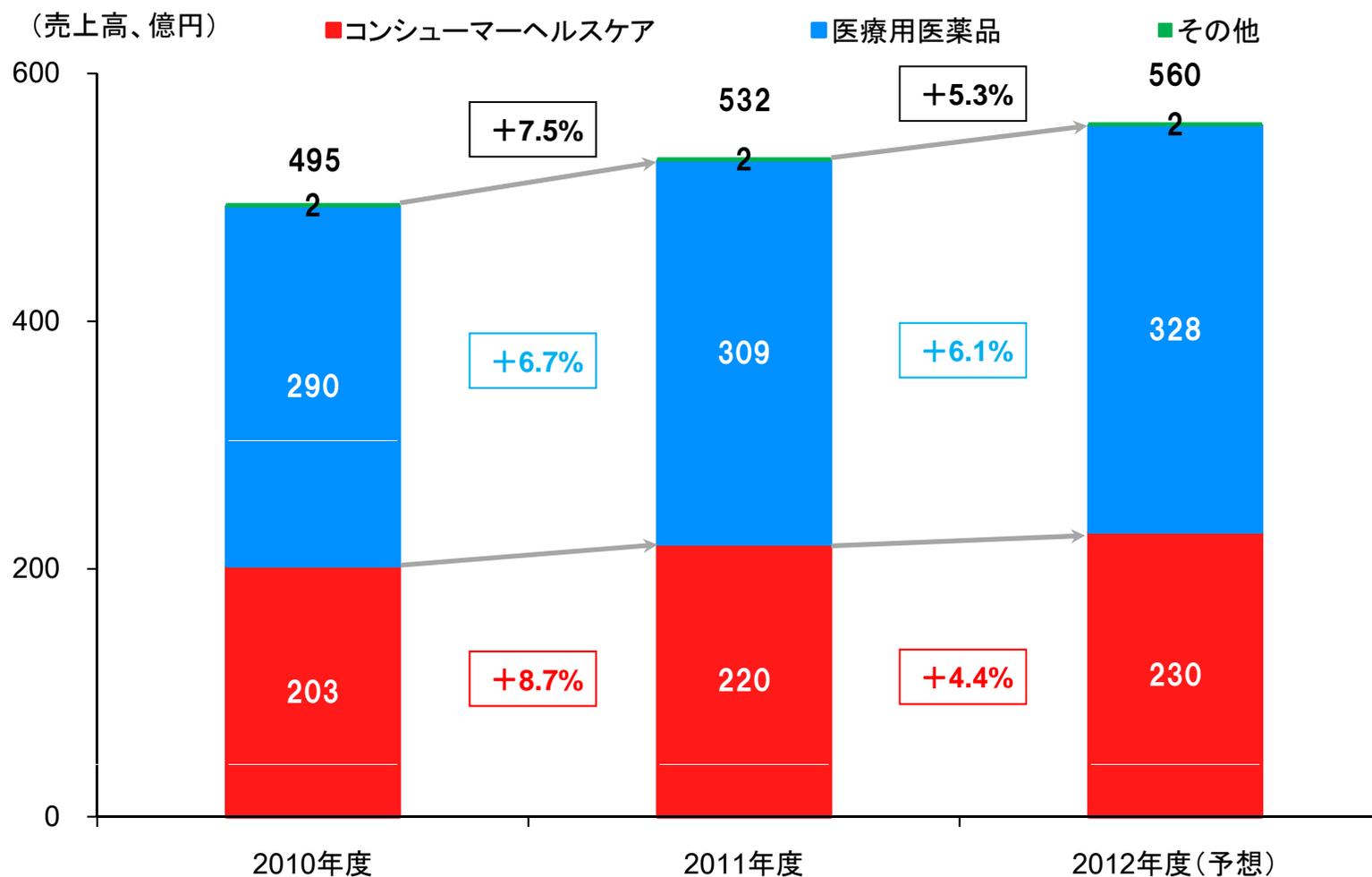
## Ⅱ-6 通期業績予想(連結)

- ◆ 売上高は5.3%の増収。営業利益は0.7%、当期純利益は11.8%の増益と予想。
- 期初予想からの修正なし。通期の配当は期初予想に対し年間2円の増配を予想。

(単位:百万円)	2011年度	2012年度	
	実績	予想	前年伸率
売上高	53,169	56,000	5.3%
営業利益	4,568	4,600	0.7%
経常利益	4,417	4,500	1.9%
当期純利益	2,861	3,200	11.8%
研究開発費	5,308	6,200	16.8%
海外売上高	6,506	7,500	15.3%
一株当り配当	23円	26円	(前年差) 3円

## Ⅱ-6 通期業績予想(連結):売上高

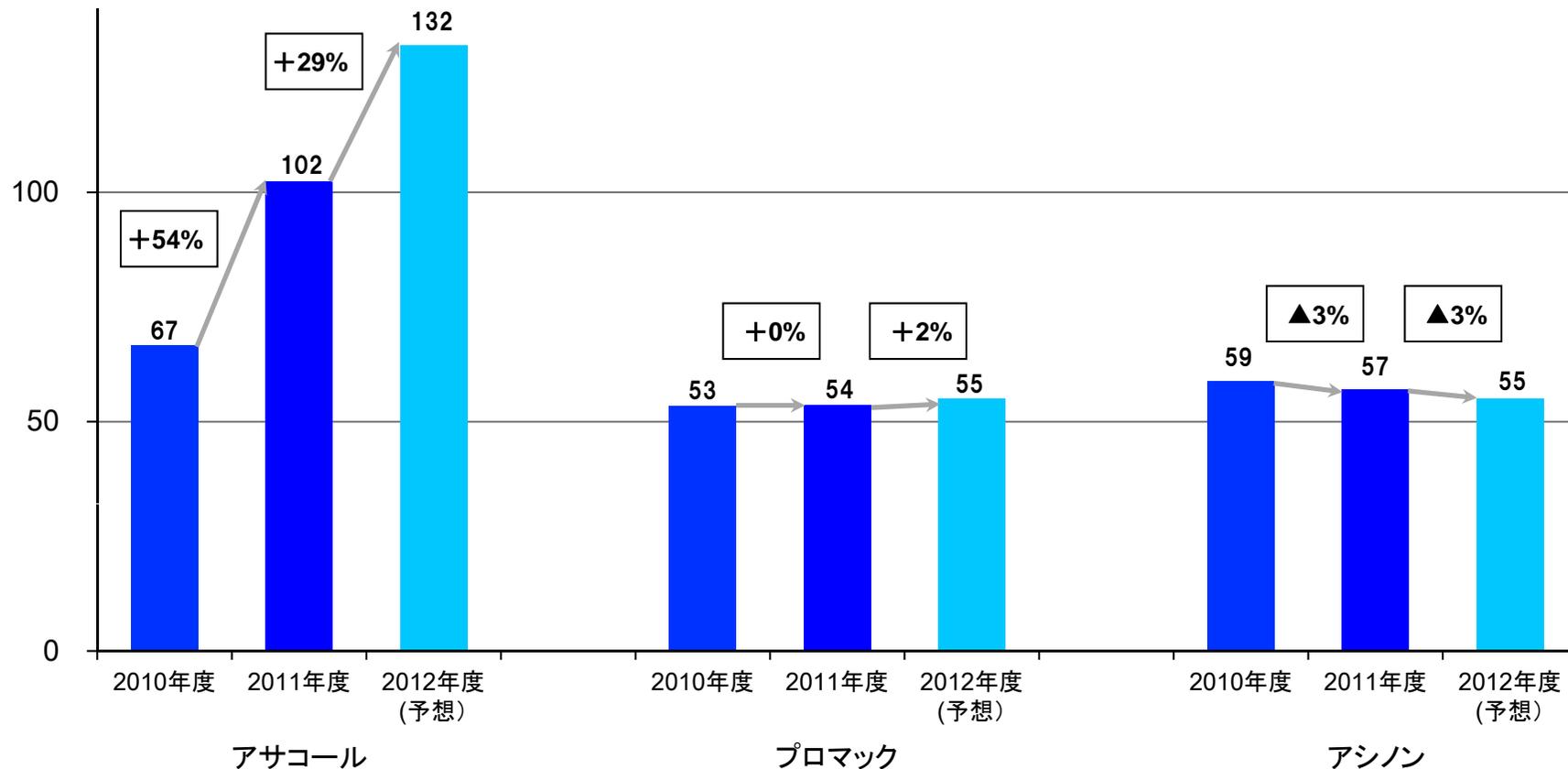
- ◆ 売上高は560億円、前同比28億円(+5.3%)の増収と予想。
- 医療用医薬品事業、コンシューマーヘルスケア事業ともに増収を予想。



## Ⅱ-6 通期業績予想(連結): 医療用医薬品事業

- ◆ アサコールは引き続き大きく伸長すると予想。
- ◆ プロマックは微増、アシノン は減少と予想。

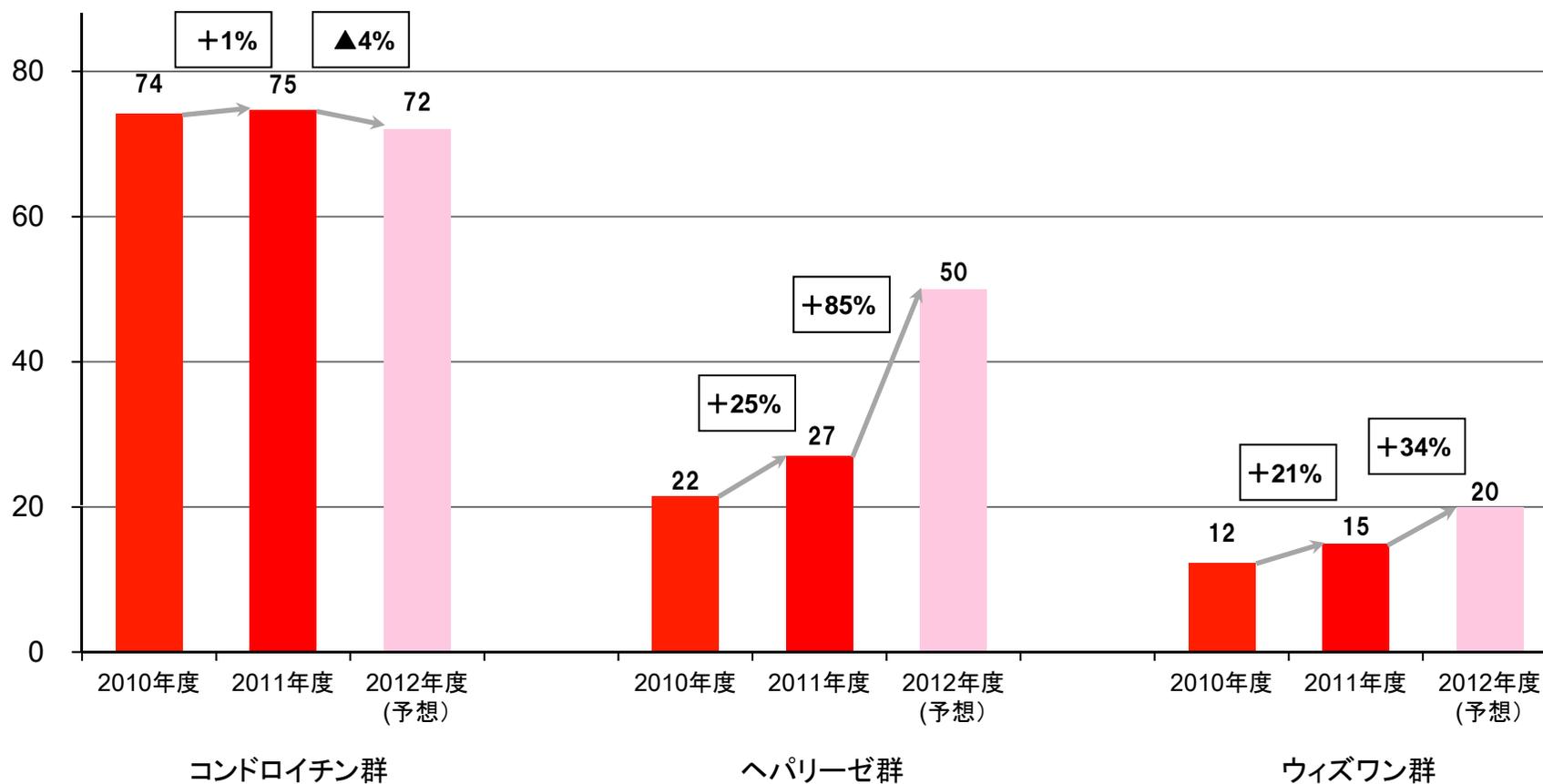
(売上高、億円)



## Ⅱ-6 通期業績予想(連結):コンシューマーヘルスケア事業

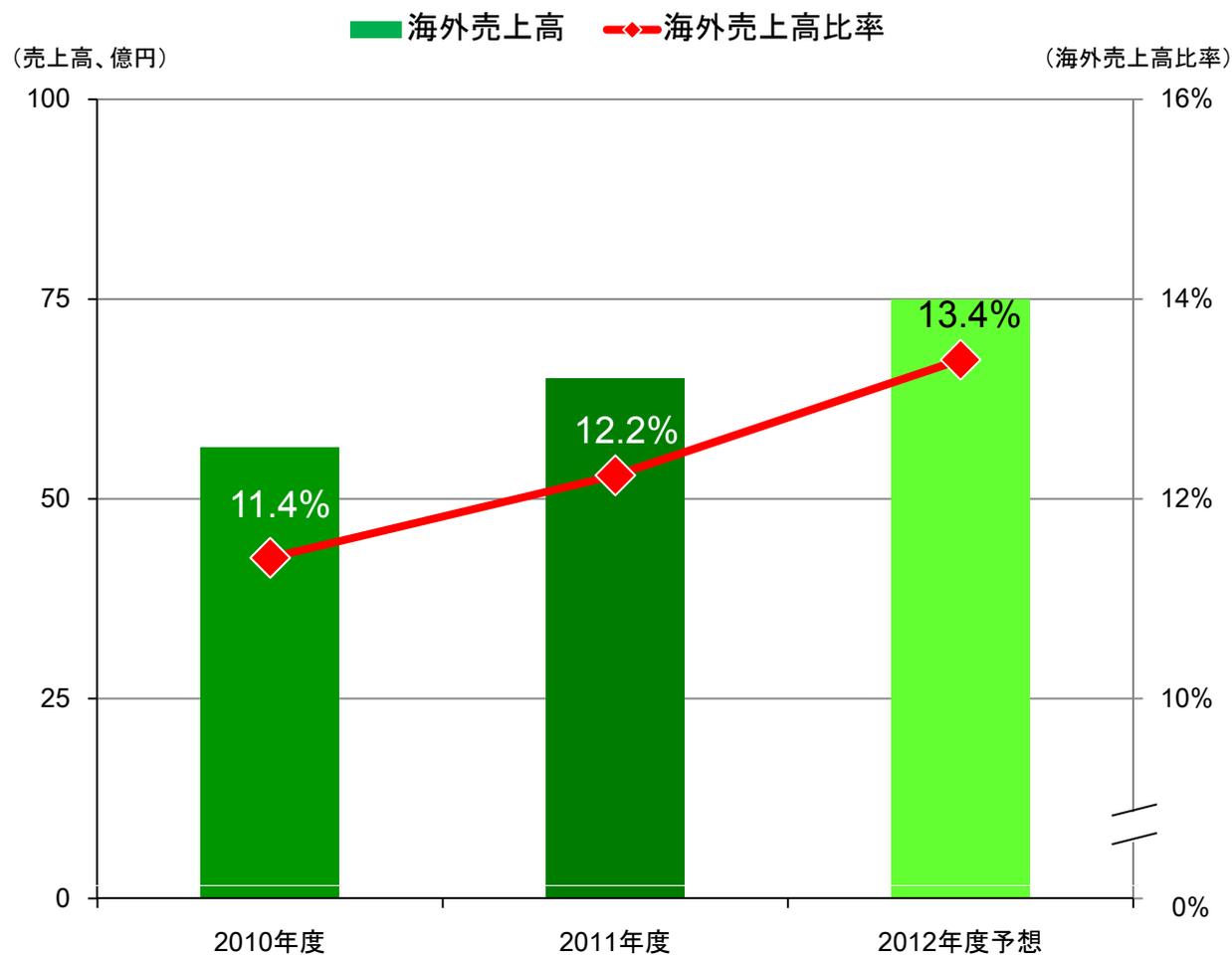
- ◆ ヘパリーゼ群は期初予想を超える大幅な伸長を予想。ウイズワン群も伸長を予想。
- ◆ コンドロイチン群は下期の需要期で回復を図る。

(売上高、億円)



## Ⅱ-6 通期業績予想(連結):海外事業

◆ 海外売上高は前年比10億円(15%)増加し、海外売上高比率は13.4%と予想。



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

**お問い合わせ先: 広報部 森山まで**  
**Tel. 03-3661-1039 Fax. 03-3663-4203**